

実践記録

学校/学年	小学校 / 6年	
教科等：単元名	総合的な学習の時間：「迷惑メールが来たら（疑似体験）」	
キーワード	迷惑メール 疑似体験 シミュレーター	
情報モラル指導モデルカリキュラム表における目標	分類	情報社会の倫理 法の理解と遵守 安全への知恵 情報セキュリティ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	d 2：情報社会の危険から身を守るとともに、不適切な情報に対応できる。
	中目標項目番号 中目標項目内容	d 2 - 1：危険に出会ったときは、大人に意見を求め、適切に対応する。
授業会場	パソコン教室 普通教室 特別教室〔 〕 その他〔 〕	
学習の目標	迷惑メールを受け取ったときの正しい対処法を知るとともに、迷惑メールが来る仕組みと個人情報を守る方策を理解する。	
使用教材	教材名	事例で学ぶNetモラル
	製作者	広島県教科用図書販売株式会社
	入手先(URL等)	長野市情報モラルポータルサイト「事例で学ぶNetモラル」

展開

	学習活動	指導 評価
導入	1. 携帯について考える	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯の便利な点や、問題点について出し合う。 ・迷惑メールについて勉強することを知る。
展開	2. シミュレーターで迷惑メールの体験をし、どうして迷惑メールが来るようになったか話し合う。 3. 迷惑メールとはどんなメールなのか話し合う。 4. どうして迷惑メールが大量に来るようになったかを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・シミュレーターで疑似体験する時間を十分確保し、楽しいゲームにつられて軽い気持ちで迷惑メールのURLにアクセスした結果、ゲームの魅力から逃れられなくなり「ハマってしまう」心理状態を体験させる。 ・迷惑メールの種類や特徴、来るようになった原因、対処法について映像クリップと説明による全体指導を行い、十分に理解させる。
おわり	5. 本時を振り返り、感想を書く。	迷惑メールの仕組みを理解し、受け取った時に反応せず、大人に相談しようと考えることができたか。

授業の成果

- ・一部の子どもは自分の携帯電話を持っており、また中学入学に合わせて大多数の子どもが携帯購入を希望している。また、日頃テレビやパソコンのゲームに親しんでいるため、携帯のゲームサイト等への関心も高い。子ども達は「携帯は便利だけれど危険なもの」という認識は持ち、漠然とした不安を感じているものの、危険についての知識や対処法については知らないことが多いため、非常に意欲的に学習に取り組んでいた。
- ・疑似体験を通して、巧妙な手口でサイトにアクセスさせる迷惑メールの仕組みを理解し、正しい対処方法を学ぶことができた。

指導のポイント・留意点

- ・シミュレーターで疑似体験する時間を十分確保し、楽しいゲームにつられて軽い気持ちで迷惑メールのURLにアクセスした結果、ゲームの魅力から逃れられなくなり「ハマってしまう」心理状態を体験させることがポイントである。